

聖書釈義とは何か？

聖書釈義的学びを紐解く

The Come before Winter(カム ビフォー ウィンター)では聖書釈義の学びを体験します。聖書が伝えるべきメッセージを聖書に語らせることを目的とした学びです。この手法を取り入れたのは、次のような理由からです。つまり、神のみことばを読むとき、その意図する文脈に従って書かれたみ言葉に全ての注意を注ぐ時、そこから神の御声がひとそれぞれに、また、個人的に、聞こえてくる、つまり神ご自身のお言葉で聞こえてくることを確信しているからです。

この4日間、イエス様の心を見出すことができるように、イエス様が自らお選びになった者の一人、マルコの言葉によく耳を傾けてみたいと思います。マルコを選択したのは、次のような理由からです。まず、第一にマルコの福音書は、イエス様について書かれています。イエス様の心のほぼ全てを知っているというクリスチャンはまず存在しないと言っても過言ではないでしょう。福音書のページがかなりすり減っている聖書は、多くはないかもしれませんが。第二に、マルコは福音書であるという理由からです。福音書には特別なチャレンジがあり、文書の内容を学ぶ時に特にそれが適応します。そして、最後にマルコは比較的短い書であるからです。福音書の中で

最も短く、1週間という限られた時間の中でもかなり深く読みこなすことができると思います。

ぜひ、これから一緒にこのかつてない試みに共に挑んでみましょう。

神様がみ霊を通して私たちの師となり得たとしたら、いったいどうなるのでしょうか？また、すぐに他の資料や解釈書に頼るのではなく、み言葉をほぼ学び終わるまでその助けを待ったとしたらどうでしょうか。ただ単に聖書を、その文章通りに読むことだけで何か新しいこと発見することができるのでしょうか？神様のみ言葉が、私たちの心を惹き付ける魅力的な師となり得るのでしょうか？そして、その教えによって、聖書を学ぶ時に私たちに新たなエネルギーをみなぎらせ、内なる新しい炎をもたらしてくださるのでしょうか？

私たちのこのアプローチは、新しい聖書の学び方ではありません。多分、ここにいるほとんどの方がこのような学びをもうされているかもしれません。ここでは、共に

み言葉を読む練習を重ねながら、いくつかの役に立つ技術やアイデアを紹介して行きたいと思います。ここでは、神様の福音を人に伝えられるように、聞くべき耳を、そして見るべき目を主からいただき、マルコ書を通して神様が導く道に繋がる扉を開けられるように、お互いを助け合うことができるように心から願います。

釈義一

ギリシャ語；

「～から導きだす」という意味。この聖書の学び方では、学び手は文脈から学びます。すなわち、聖書のみ言葉自体から直接その教えの意味を導きだします。

学びのプロセスのステップ

- ステップ1. み声を聞く準備
- ステップ2. 文脈を見出す
- ステップ3. 書かれていることを吟味する
- ステップ4. 主たるポイントを探る
- ステップ5. そのメッセージを自分の人生に当てはめる



セッション 1：養成

ステップ 1—み声を聞く準備

(祈る、読む、探す、そして聞く。)

- A. 自分の霊的な成長と内なる理解のために祈る。「この書に書かれていることの本質を真に知りたいかどうか？」自分に問いかける。
- B. 読む、読む、読む！細かく分析しようとせず、まず読む！
1. 一度にできるだけ何度も繰り返し読む。
 2. 違う翻訳を照らし合わせ、使われている言葉の微妙な違いに注意を払う。
- C. 基本的な事実を調べる。(自分のできる範囲で) 文書に書かれている内容に至るまでの状況を把握する。
1. 聖書の内容とまた、適切な補助教材を使って、聖書に関して次の項目に沿って調べる。*ここは自習のための情報です。楽しみながらいろいろ調べてください。
 - a. 著者
 - b. 時代
 - c. 場所
 - d. 対象とする読者、またその読者との著者の関係
 - e. 書き方及びジャンル
 2. この書を学ぶ前に、次の質問をよく考えてみよう。この聖句は、そのことばを一番最初に聞いた者たちにとってどのような意味があったのだろうか？ 聖句の意味は当時の読者に当てられたものと今日とで異なるものではない。
- D. 聞く！さらに読む；文書から語られることに耳を傾けよう。進むにつれて、自分自身に質問を問いかける。
1. 学びの中で生まれる難しい質問は、祝福である。常に、自分の質問に注意を払う必要がある。たとえ、それが自分にとってチャレンジであったとしても。
 2. 質問を書き留め、思いを巡らし、心に留め、また読み進める。
 3. 途中、ときどき、読むのをやめる。そして、耳を傾け、質問に戻り考える時を持つ。さらに、学びが必要と思われる聖句を調べる。
- 祈る！
そして、また更に読み続ける！

備考--

聖書に関する基本的な事実を細かく見る時に、優れた聖書評訳書を参考にすると良いでしょう。また、別に聖書解釈書も参考になるでしょう。

基本的な事実を探す演習（ステップ1）

前ページのポイントCを参照する。マルコ書に関して次の質問に答える。

C. （自分のできる範囲で）文書に書かれている内容に至るまでの状況を把握する。

1. 聖書の内容とまた：

a. 著者：誰が書いたのか？

b. 時代：いつ書かれたのか？

c. 場所：これを書いた時、著者はどこにいたか？

d. 対象とする読者、またその読者との著者の関係：誰に対して書かれたものか？なぜ、その人たちに対して書かれたのか？

e. 書き方及びジャンル：この書は、どのタイプの本と言えるか？

文脈が全てである！書の詳細を探る前に作者が読者に知ってほしい多様な文脈について考える必要がある。

マルコ時代の紀元1世紀での文脈：

留意点、

聖書の代わりになるものは一切ない。聖書それ自体が最適な解釈書である。

聖句の意味は当時の読者に当てられたものと今日とで異なるものではない。

セッション 1: マルコ書に焦点をあてる

自身で聖句を検証する: マルコ書1章14節-3章6節 (課題 1)

1. 神様のみ言葉を聞く耳と見る目を与えてくださるよう祈る。
聖句を検証しながら感じたことをノートに取り、グループで分かち合う準備をする。
2. マルコ書1章14節-3章6節を(手元のマルコ書のコピーで)読む。
3. 以下の事柄に印を付けるかノートを取る:
 - ・ 「権威」という言葉と「権威」の例え
 - ・ イエス様に示された「権威」の質問と宣言
 - ・ イエス様のそれらの質問及び宣言に対する応答

塾考するポイント

この箇所ではイエス様と対立する場面について考える。イエス様ご自身、イエス様の人生と教えのいったい何にそれほどまで困惑し、また動揺したのだろうか？

4. このセクションで（聖句（聖句箇所）を心に浮かべながら）指摘された基本的な告発は何か？

5. このセクションで（聖句（聖句箇所）を心に浮かべながら）イエス様が宣言されていることは何か？

もう一度神様のみ言葉を聞けるように助けていただけるよう祈りましょう。

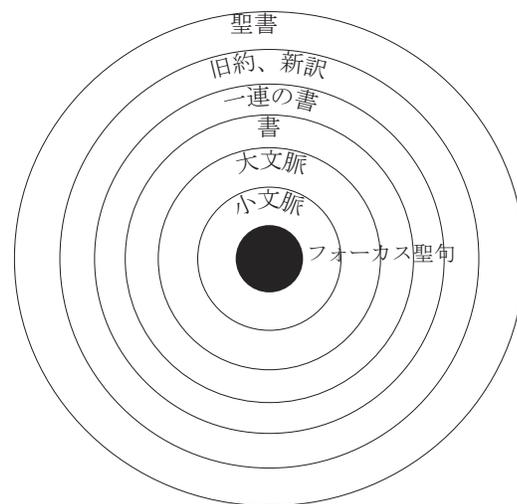
自分の考えを分かち合えるように準備しておきましょう。

セッション 2：養成

ステップ2—文脈を見出す

基本的な用語を確認しましょう

- ・ フォーカス聖句—もっと熟考したいと思われる特別な聖句
- ・ 小文脈—フォーカス聖句を囲む文書（その直前直後の文章）から、相互に影響を与えながら ひとつのまとまりとなり得たり、あるいはひとつの考えとして成立できるもの。
- ・ 大文脈—本の主なセクションの一つ。特に、フォーカス聖句を含む主なセクションで、そこからより深い議論を導き、また、目的やテーマについて議論することもできる。



学びの順序について

聖書を読むとき、私たちはある特定の聖句箇所（ここでは、その箇所をフォーカス聖句と言います。）を学んだり、議論することを好みます。ともすると、すぐにでもそのフォーカス聖句に焦点をあて、学びを始めようとします。しかし、この聖書釈義のルールでは、まず、大きな絵を見ることによって学びを始めるように努めます。つまり、大文脈の箇所をまずカメラのレンズで覗きながら、聖書のその特別な箇所のメッセージ、あるいはテーマを見ていきます。そのメッセージが明らかになった時点で、今度は少しずつズームインしながら、小文脈に近づいていきます。そして、著者が私たちに伝えたいことが一体何かを理解できたと自信が持てたら、さらにズームインし、フォーカス聖句を細かく見ていきます。しかし、その際に、その文の前後で学んだ内容を必ず心に留めておくということを忘れてはいけません。

私たちの学びの順番は次の通りです。大文脈 → 小文脈 → フォーカス聖句

留意点、

文脈からその意味を理解します。ある一箇所の聖句は物語全体のある一部分である。物語やメッセージ全体のポイントは、聖句をひもとく助けとなります。

聖句内の区切りを見つける練習（ステップ2）

マルコ 1 章 新改訳聖書

1 神の子イエス・キリストの福音のはじめ。
2 預言者イザヤの書にこう書いてある。
「見よ。わたしは使いをあなたの前に遣わし、
あなたの道を整えさせよう。
3 荒野で叫ぶ者の声がする。
『主の道を用意し、
主の通られる道をまっすぐにせよ。』」
そのとおりに、
4バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪の赦し
のための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。
5そこでユダヤ全国の人々とエルサレムの全住民
が彼のところへ行き、自分の罪を告白して、ヨル
ダン川で彼からバプテスマを受けていた。
6ヨハネは、らくだの毛で織った物を着て、腰に
皮の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。
7彼は宣べ伝えて言った。「私よりもさらに力のある
方が、あとからおいでになります。私には、
かがんでその方のくつのひもを解く値うちもあ
りません。
8私はあなたがたに水でバプテスマを授けましたが、
その方は、あなたがたに聖霊のバプテスマを
お授けになります。」
9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来
られ、ヨルダン川で、ヨハネからバプテスマをお
受けになった。
10そして、水の中から上がられると、すぐそのと
き、天が裂けて御霊が鳩のように自分の上に下ら
れるのを、ご覧になった。
11そして天から声がした。「あなたは、わたしの
愛する子、わたしはあなたを喜ぶ。」
12そしてすぐ、御霊はイエスを荒野に追いやら
れた。
13イエスは四十日間荒野にいて、サタン誘惑を
受けられた。野の獣とともにおられたが、御使
いたちがイエスに仕えていた。
14ヨハネが捕らえられて後、イエスはガリラヤに
行き、神の福音を宣べて言われた。
15「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて
福音を信じなさい。」
16ガリラヤ湖のほとりを通られると、シモンとシ
モンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのをご
覧になった。彼らは漁師であった。
17イエスは彼らに言われた。「わたしについて来

課題：下記の聖句で、文脈の区切りのヒント
(移行語や移行句、場所や時間の変化)を基に
聖句の自然な区切りを見つける。見つけた区切
りに印をつける。

なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」
18すると、すぐに、彼らは網を捨て置いて従っ
た。
19また少し行かれると、ゼベダイの子ヤコブとそ
の兄弟ヨハネをご覧になった。彼らも舟の中で網
を繕っていた。
20すぐに、イエスがお呼びになった。すると彼ら
は父ゼベダイを雇い人たちといっしょに舟に残し
て、イエスについて行った。
21それから、一行はカペナウムに入った。そし
てすぐに、イエスは安息日に会堂に入って教え
られた。
22人々は、その教えに驚いた。それはイエスが、
律法学者たちのようではなく、権威ある者のよ
うに教えられたからである。
23すると、すぐにまた、その会堂に汚れた霊につ
かれた人がいて、叫んで言った。
24「ナザレの人イエス。いったい私たちに何をし
ようというのです。あなたは私たちを滅ぼしに来
たのでしょうか。私はあなたがどなたか知っていま
す。神の聖者です。」
25イエスは彼をしかって、「黙れ。この人から出
て行け」と言われた。
26すると、その汚れた霊はその人をひきつけさ
せ、大声をあげて、その人から出て行った。
27人々はみな驚いて、互いに論じ合って言った。
「これはどうだ。権威のある、新しい教えでは
ないか。汚れた霊をさえめられる。すると従
うのだ。」
28こうして、イエスの評判は、すぐに、ガリラヤ
全地の至る所に広まった。
29イエスは会堂を出るとすぐに、ヤコブとヨハネ
を連れて、シモンとアンデレの家に入られた。
30ところが、シモンのしゅうとめが熱病で床に着
いていたので、人々はさっそく彼女のことをイエ
スに知らせた。
31イエスは、彼女に近寄り、その手を取って起
こされた。すると熱がひき、彼女は彼らをもて
なした。
32夕方になった。日が沈むと、人々は病人や悪
霊につかれた人々をみな、イエスのもとに連れて
来た。
33こうして町中の者が戸口に集まって来た。

34イエスは、さまざまの病にかかっている多
くの人をいやし、また多くの悪霊を追い出され
た。そして悪霊どもがものを言うのをお許しに
ならなかった。彼らがイエスをよく知っていた
からである。
35さて、イエスは、朝早くまだ暗いうちに起き
て、寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられ
た。
36シモンとその仲間、イエスを追って来て、
37彼を見つけ、「みんながあなたを捜しております
」と言った。
38イエスは彼らに言われた。「さあ、近くの別の
村里へ行こう。そこにも福音を知らせよう。わた
しは、そのために出て来たのだから。」
39こうしてイエスは、ガリラヤ全地にわたり、そ
の会堂に行き、福音を告げ知らせ、悪霊を追
い出された。
40さて、ツァラアトに冒された人がイエスのみも
とにお願いに来て、ひざまずいて言った。「お心
一つで、私をきよくしていただけます。」
41イエスは深くあわれみ、手を伸ばして、彼に
さわって言われた。「わたしの心だ。きよくな
れ。」
42すると、すぐに、そのツァラアトが消えて、そ
の人はきよくなった。
43そこでイエスは、彼をきびしく戒めて、すぐに
彼を立ち去らせた。
44そのとき彼にこう言われた。「気をつけて、だ
れにも何も言わないようにしなさい。ただ行っ
て、自分を祭司に見せなさい。そして、人々への
あかしのために、モーセが命じた物をもって、あ
なたのきよめの供え物をしなさい。」
45ところが、彼は出て行って、この出来事をふれ
回り、言い広め始めた。そのためイエスは表立っ
て町の中に入ることができず、町はずれの寂しい
所におられた。しかし、人々は、あらゆる所から
イエスのもとにやって来た。

セッション 2: ステップ 2: 文脈を明らかにする (続き)

大文脈を確認する:

1. 書の全体のアウトラインを理解する(あるいは、いくつかのアウトラインを比較する。)

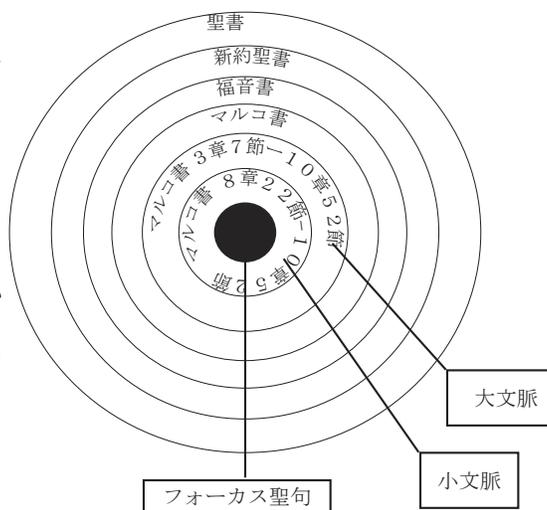
ここでいう大文脈の意味はもうお分かりですね。自分のフォーカス聖句を含む主なセクションのことです。一冊の本は、いくつかの主なセクションを集めたものです。ですから、今この時に、一歩下がり、この書全体のアウトラインを把握することが大切です。練習を重ねると、自分なりにアウトラインを作ることができるようになります。しかし、ここでは、聖書辞典や、解釈書などを参考にして、今学んでいる書のアウトラインを調べてください。聖書箇所の内容などにはここでは触れず、できれば、何種類かのアウトラインを見比べると良いでしょう。次の3ページには、マルコ書の三種類のアウトラインが載っています。まず、はじめに私たちが今週使うものから紹介します。

2. その書が主要なセクションにどのように分かれているかを確認する。

2、3種類のアウトラインを比較しながら、主要なセクションの始まりと終わりがどこかを確認します。それぞれにどのような違いがあるか、たとえばセクションの分け方に違いがあるかを調べます。違いがある場合、「仕切り読み」(一つのセクションの一番最後の聖句と次のセクションの一番最初の聖句を見る。)を試し、そこからなぜそのように区切ったのかを考えます。そして、自分が学びの中で使用したいアウトラインを一つ選びます。

3. 学ぼうとしている主要セクションのテーマを確認する。

使うアウトラインが決まったら、そのアウトラインで強調されている主なテーマにまず目を向けます。特に、自分が選んだフォーカス聖句があるセクションのテーマに注目します。この学びのフォーカス聖句は、マルコ書10章46-52節の盲人バルテマイの話です。次のページには、今週私たちが学んでいくマルコ書の主なセクションを示したアウトラインがあります。このマルコ書の箇所は、ガラヤでイエス様が群衆に語られた内容と人々の反応が書かれています。今回フォーカス聖句が、このセクションの一番最後に来ていることに注目してください。次ページのアウトラインのポイントIIのところです。このマルコの福音書の箇所が、今回の学びの大文脈に当たります。



小文脈を確認する:

1. 小文脈とは、フォーカス聖句を囲む箇所(直前直後の文)を意味し、フォーカス聖句に相互に作用し、そこからある一つの考えが浮かび上がってきます。この学びの目的として、小文脈は、マルコ書の8章22節から10章52節までです。次ページのポイントIICにあたり、「見えることを熱望する」という箇所と呼ばれています。このセクションでの物語の全てにおいて、信じるものが神の御国を見る能力があるかないかに焦点が当てられています。そこで、盲人バルテマイ(フォーカス聖句に出てくる)が、イエス様に「見たい」と言いましたが、これがとても重要になります。
2. 学びを重ねることで、小文脈を自分自身で見つけ出すことができるようになります。そのためには、自分の選んだフォーカス聖句の前後をよく注意して読みます。そしてフォーカス聖句とその前後の箇所に似たような言葉や考えがあるかどうか注目してください。フォーカス聖句とその前後の聖句に共通している事があるかどうか、あれば、いったいそれは何であるかを探りましょう。また、あるひとつの考えが与えられた場合、それはどこで始まり、どこで終わるのでしょうか？(また、そこにどう行き着いたのか?) 次のステップ3では、学びのツールとして、自分が学ぼうと選んだフォーカス聖句に対応する小文脈をどのように見つけるかを説明しています。

学びからのアウトライン カレン・アレクサンダーによる

マルコの主要セクション | マルコ書の一般的なテーマ別アウトライン、特にガリラヤにてのイエス様のミニストリーで語られた内容に焦点を当てる。

I. 紹介、ミニストリーの準備、そして最初の争い（1章1節-3章6節）

神の御子、イエス・キリストの福音の初め。1章1節
パリサイ人たちが出て行き、すぐにヘロデ家一派とどのようにイエスを殺そうかと相談し始めた。3章6節／

II. ガリラヤでのイエス様の語りと周囲の反応（3章7節-10章52節）

A. 何を聞いているかに注意しなさい。3章7節-6章6節

聞く耳のある者は聞きなさい。何を聞いているかに注意しなさい。あなたがたは自分の量る秤で秤与えられ、さらにたくさん与えられる。」4勝23節-24節

B. パンのメッセージを理解する。6章7節-8章21節

……というのは、彼らはまだパンのことから悟るところがなく……6章52節
「まだわからないのですか、悟らないのですか。」8章17節
イエスは、「まだ、悟らないのか。」と言われた。8章21節

C. 見えるようになりたいです！8章22節-10章52節

イエスは「何か見えるか」と聞かれた8章24節
盲人は言った。「先生。目が見えるようになることです。」10章51節

III. エルサレム入場とエルサレムでの教え11章1節-13章37節

さて、彼らがエルサレム近くに来て、オリーブ山のふもとのベテバゲとベタニアに…11章1節
「わたしがあなたがたに話していることは、すべての人に言っているのです。「めをさましていなさい。」」13章37節

IV. 十字架への備え14章1節-42節

V. 展開する受難物語：逮捕、裁判、そしてキリストの死 14章43-15章47節

VI. 復活した主の知らせ

A. 復活：16章1節-8節

B. 最終章のより長い終わり：16章9節-20節

* 注：万一、いくつかのアウトラインの区切り方があまりに違いすぎる時は、アウトラインの作成者の内容の読み方や、そのまとめ方が違う可能性が挙げられます。たとえば、ある作者は、旅の移動の様子に沿ってセクションを区切りアウトラインを作成する一方、別な作者はテーマに沿ってアウトラインを考えたりするといったことが考えられます。あるいは、マタイの福音書ではイエス様の5つの説教の最後に「イエスがこのように言い終わると」という表現が繰り返し使われていますが、このように（同じフレーズの繰り返しのような）決まった形で繰り返される内容などによってアウトラインを作ることができます。

セッション 2：養成

ステップ 2：文脈を明らかにする（続き）

最も簡潔なマルコ書のアウトライン

- I. この人は誰なのか？ 1章1節-8章30節
- II. キリストは誰なのか？ 8章31節-16章20節

マルコ書の旅行日誌的アウトライン

- I. 宣教活動の紹介 1章1節-1章13節
- II. ガリラヤでの宣教 1章14節-9章50節
- III. エルサレムまでの教え 10章1節-11章10節
- IV. エルサレムでの教え 11章11節-14章11節(または14章31節)
- V. 受難物語 14章12節(または14章32節)-16章8節
- VI. 付録 16章9節-20節

マルコ書のカレン流全体像をつかむ大局的視点のアウトライン

- I. 神の子イエス・キリストの福音のはじめ 1章1節-3章6節
 - A. 種まく人のたとえ話（御子の承認） 3章7節-10章52節
 1. よく聞きなさい 3章7節-6章6節
 2. パンのメッセージを理解する 6章7節-8章21節
 3. 見えるようになりたいです 8章22節-10章52節
 - B. 農夫のたとえ話 11章1節-16章20節
 1. その息子は収穫に来てエルサレムで教える 11章1節-13章37節
 2. 彼らは彼を捕らえ、殺しぶどう園の外に投げ捨てる 12章13節-15章47節
 3. 彼はぶどう園を「ほかの人たちに与える。」：「全世界に出て行きなさい。」 16章1節-20節
- II. 神の子イエス・キリストの福音のはじめ 16章15節-20節

セッション 2: マルコ書に焦点をあてる

自身で聖句を検証する: マルコ書3章7節-6章6節 (課題 2)

マルコ書のみ言葉を聞く耳が与えられるように神様に祈る。

3章7節-6章6節 までを (手元にあるマルコ書のコピーで) 読む。

4章1節 - 3 4節に集中する。 :

- ・ 「わかる」「理解する」という言葉が出てくるとに下線を引く
- ・ 「聞く」「耳にする」に関連する言葉や句を丸で囲む
- ・ 「聞くこと」にはどのような祝福があるか?
- ・ 「聞くこと」を妨げるものは何か?
- ・ 「聞くこと」についての教えは何か?

4章1-3 4節までの物語で、大まかな共通点を見いだせるか?

4章3 5節-6章6節までの物語で、大まかな共通点を見いだせるか?

マルコ書のみ言葉を聞く耳が与えられるように神様に祈る。

セッション 2: マルコ書に焦点をあてる

全てを総合する: マルコ書3章7節-6章6節
でイエス様が語られていることに耳を傾ける

あなたには何が聞こえるか？

マルコ書の1章から6章までで最も心を動かされたことは何ですか？
それはなぜですか？

マルコ書3章7節-6章6節: よく聞きなさい。

マルコの福音書のこのセクションで覚えておきたい考えやメモを記録しておくのにこのページを使ってください。

マルコ書3章7節-6章6節の文脈

- I. 宣教活動への序章、宣教活動への備え、初期の対立。
- II. イエスのガリラヤでのメッセージとそこでの反応
 - A. よく聞きなさい。3章7節-6章6節
 - ・ 3章7節-8節: またユダヤからエルサレムから、イドマヤから、ヨルダンの川向こうやツロ、シドンあたりから、大ぜいの人々が、イエスの行っておられることを聞いて、みもとにやって来た。
 - ・ 3章21節: イエスの身内の者たちが聞いて、イエスを連れ戻しに出て来た。「気が狂ったのだ。」と言う人たちがいたからである。
 - ・ 4章9節、23節: **聞く耳のある者は聞きなさい。**
 - ・ 4章24節: 「聞いていることによく注意しなさい。あなたがたは、人に量ってあげるその量りで、自分にも量り与えられ、さらにその上に増し加えられます。」
 - ・ 4章35節: 嵐を静めるイエス
 - ・ 5章1節: 悪霊につかれた人を癒すイエス
 - ・ 5章21節: 女性の病を癒し少女を死から蘇らせたイエス
 - ・ 6章1節-6節: イエスはそこを去って、郷里に行かれた。…: 会堂で教え始められた。それを聞いた多くの人々は驚いて言った。「こうゆうことをどこから得たのでしょうか。…: マリヤの子で…: こうして彼らはイエスにつまづいた。
 - B. パンのメッセージを理解する
6章7節-8章21節
 - C. 見えるようになりたいです
8章22節-10章52節
- III. エルサレム入城

セッション 3：養成

ステップ3—書かれていることを吟味する

注意深い読み手になることを学ぶ

- A. 該当聖句及びセクション内の言葉を注意深く見て文章を調べる。
- 繰り返されている事象（その事象が何回現れているか）に注意を向ける。
 - 言葉
 - 似たようなフレーズや考え
 - 述語動詞を考える。
 - その述語動詞は行動に目を向けさせているのか、それとも状態を示しているのか？
 - その述語動詞は助言（または命令）を与えているのか？
 - 動詞の時間の要素（時制）を考える：過去形か？現在形か？未来形か？
 - 代名詞に目を向ける。
 - 例えば主格単数の私は/あなたは/彼は/彼女は/それは/なのか、複数の私達は/あなた達は/彼らは/なのか、目的格の私に/彼に/彼女に/彼らに/それらに/なのかなど
 - 誰に（または何に）むけて書かれたみ言葉なのか？例えば、「彼ら」とは誰を対象としているのか？「彼らは」は、複数形。
 - 代名詞の格（1人称(私は)、2人称(あなたは)など)が変わる箇所はあるか？
 - 言葉、言葉のグループ、フレーズ、考えなどのどんな違いも書き出す。
 - この聖句の中で似ている事象は何か？
 - この聖句の中で異なっている事象は何か？
 - 移行語を見つける。（移行語は小文脈の境界を明確にしたり、主なセクションや広い文脈を見つけるのに一つの書のアウトラインをつくる時に役に立ちます。）
 - それらの移行語は時間的推移を表しているか？（例えば、「その後」「それから」「次の日」のように）
 - それらの移行語は地理的又は、身体的な動きを表しているか？（例えば、「彼は旅をしながら」のように）
 - それらの移行語は「もし」のように条件を表しているか？（もし条件が与えられているならその条件は何か？）
 - それらの移行語は結果や概要を強調しているか？（例えば「したがって」「このことから」「だから」のように）
 - その他の重要だと思える言葉（場所、フレーズ、コンセプト）を吟味する。
 - この言葉（又はフレーズ）が本当は何を意味するのか？
 - この事柄は他のどこかに書かれているか？
 - 同じ著者が他の書のどこかでこの言葉を使っているか？
 - この言葉が新約聖書のどこか他のところで使われているか？
 - この言葉が旧約聖書のどこか他のところで使われているか？
 - 聖句の中で質問はされているか？誰がその質問に答えるのか？どのように答えられるのか？
 - 直接応答形式なのか？
 - 物語形式（又はたとえ話の形式）なのか？
 - 参照聖句を示してなのか？
 - 比較によってか？
 - その他？

留意点:

文脈から文章が語っていることを吟味した後のみ、適切な全体像を見失うことなくその内容を調べることができます。よく見てください！

B. 少し戻ってこれまでに見つけたことすべてについて考える。

1. この聖句で重要と思えることは何か？
 - a. 抜き出した繰り返し使われている言葉とフレーズを振り返る。(A1参照)
 - b. どんな考えやポイントが最も頻繁に現れていますか？
 - c. 重要なものとしてどんな考えやポイントが突出していますか？
2. この聖句の構成をどう考えるか？
 - a. 抜き出した移行語を振り返る。(A5参照)
 - b. それらの移行語は著者がどのようにその文章を編成したのかを知る助けになっているか？
 - c. 著者のメッセージの核心を示す要約部分を見つけたか？
3. 発展的テーマを見つけたか？

* 注記—

テーマを見つける：

学びの詳細の中にパターンや強調などを見つけられるようになると、平面のページに書かれている一つの言葉からいくつものテーマが浮き上がってきます。私たちは、事細かな知識ばかり得て、教材から離れて全体像を見ようとはしません。

詳細を吟味したなら、すべての事実を要約する必要があります。福音書はイエスの奇跡を証し、イエスの教えを聞いた男性と女性で溢れています。それらの人々は主の後を追い、間近に押し寄せていたので主は食事

の時間をとることすらできないほどでした。人々はそれのすべてを「見た」が、「聞く耳」と「見る目」は持っていませんでした。盲人だったのです。

21世紀において私たちは、それらの人々以上に見ようとしないうるまいし聞こうとしていません。私たちもまた体験も伴わず、証をしてしまう恐れがあります。テーマを見つけることはメッセージを理解する助けになります。

主な見解の一つとして詳細部分から一つのテーマが浮かび上がってきます。この方法を用いることで学んでいる書のいくつかのテーマを見つけるのに助けとなる必要な情報を集めることができるでしょう。このことについて祈ってください。聖句の中にたくさんあるテーマを見つけることでしょう。聖書ではそのようなテーマは互いに繋がっていて、しばし繰り返されています。聖書全体の教えの視点から、一つの書のテーマを考えることはさらに豊かな収穫を得ることになるでしょう。

セッション 3：養成

(ステップ3) 何が書かれているかを検証するに当たっての訓練

課題：ステップ3で与えられたスタディスキルと付随するワークシート1（反対側のページ）を使って以下の聖句を分析する。色鉛筆の使用も可。

41 イエスはまた湖のほとりで教え始められた。おびただしい数の群衆がみもとに集まった。それでイエスは湖の上の舟に乗り、そこに腰をおろされ、群衆はみな岸への陸地にいた。

2イエスはたとえによって多くのことを教えられた。その教えの中でこう言われた。

3「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出かけた。

4蒔いているとき、種が道ばたに落ちた。すると、鳥が来て食べてしまった。

5また、別の種が土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。

6しかし日が上ると、焼けて、根がないために枯れてしまった。

7また、別の種がいばらの中に落ちた。ところが、いばらが伸びて、それをふさいでしまったので、実を結ばなかった。

8また、別の種が良い地に落ちた。すると芽ばえ、育って、実を結び、三十倍、六十倍、百倍になった。」

9そしてイエスは言われた。「聞く耳のある者は聞きなさい。」

10さて、イエスだけになったとき、いつもつき従っている人たちが、十二弟子とともに、これらのたとえのことを尋ねた。

11そこで、イエスは言われた。「あなたがたには、神の国の奥義が知らされているが、ほかの人たちには、すべてがたとえで言われるのです。

12それは、『彼らは確かに見るには見るがわからず、聞くには聞くが悟らず、悔い改めて赦されることのないため』です。」

13そして彼らにこう言われた。「このたとえがわからないのですか。そんなことで、いったいどうしてたと

えの理解ができません。

14種蒔く人は、みことばを蒔くのです。

15みことばが道ばたに蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞くと、すぐサタンが来て、彼らに蒔かれたみことばを持ち去ってしまうのです。

16同じように、岩地に蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞くと、すぐに喜んで受けるが、

17根を張らないで、ただしばらく続くだけです。それで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。

18もう一つの、いばらの中に種を蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞いてはいるが、

19世の心づかいや、富の惑わし、その他いろいろな欲望が入り込んで、みことばをふさぐので、実を結びません。

20良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちです。」

21また言われた。「あかりを持って来るのは、柵の下や寝台の下に置くためでしょうか。燭台の上に置くためではありませんか。

22隠れているのは、必ず現れるためであり、おおい隠されているのは、明らかにされるためです。

23聞く耳のある者は聞きなさい。」

24また彼らに言われた。「聞いていることによく注意しなさい。あなたがたは、人に量ってあげるその量りで、自分にも量り与えられ、さらにその上に増し加えられます。

25持っている人は、さらに与えられ、持たない人は、持っているものまでも取り上げられてしまいます。」

ワークシート 1 (ステップ3 参照—何が書かれているかを吟味する)

マルコ10章35節-45節からの例え

繰り返し使われている又は頻繁に使われている言葉等に注目する

言葉：例：バプテスマ
マルコ10章38節、39節

同じような語句や考え：例：偉い、最も偉い、支配者、いと高き

動詞/動詞形

例：あなた方は自分が何を求めているのか、わかっているのです。マルコ10章38節

代名詞 (何を指しているのか?)

例：(彼らに) また言われた。
マルコ7章9節 (彼ら=パリサイ人と律法学者たち)

比較/対比

あなたがたも知っているとおりに、異邦人の支配者と認められた者たちは……しかし……仕える者
マルコ10章42節-43節

移行語 (時間? 移動? 結果?)

十人の者がこのことを聞くと、ヤコブとヨハネのことで腹を立てた。マルコ10章41節、人の子が来た のも……マルコ10章45節

キーとなる言葉、場所、語句またはコンセプト。用語索引や他の手段を用いて言葉自体を調べたり、言葉、場所、語句、コンセプトをより徹底的に検証する。

例：ダビデの子。マルコ12章35節。

他出現箇所-新訳マタイ1. 1, 1. 20, 9. 27, 12. 23, 15. 22. 20. 30, 31; 21. 9, 15; 22. 42; ルカ3. 31; 18. 38, 39. 旧約第2サム13. 1; 第1歴29. 22; 第2歴: 1. 1, 11. 18, 13. 6, 30. 26, 35. 3; 箴1. 1; 伝1. 1

問いかけ: 暗示的な質問: 「先生。私たちの頼み事をかなえていただきたいと思います。」 (かなえてくださいますよね?) マルコ10章35節

答え: (直接応答、物語、聖書参照又は、ほのめかし、比較?) イエス様の最終返答: 「それに備えられた人々があるのです。」 マルコ10章40節

書かれていることを吟味する: ワークシート 1 (続き)

この聖句で重要だと思われることは何か? (下の空いている部分に繰り返し使われている言葉、考え、重要だと思えるポイントを書き出す。)

この聖句の構成について気づいたことは何か? (空いている部分にメモを取る。まとめは見つけたか?)

展開されているテーマはあるか?

セッション 3: マルコ書に焦点をあてる

自身で聖句を検証する: マルコ書6章6-8章21節 (課題3)

み言葉を理解するために心を開いてくださるようには神様に祈る。

6章6節-8章21節を読む (マルコ書のコピーでも可)

読み進めながら:

- ・ 「わかる」「悟る」という言葉が何回使われているか印をつける
- ・ 「パン」や他の食べ物をさすことばが何回使われているか印をつける

留意点: イエス様がわずかなパンから5000人と4000人に食べさせた時、弟子たちは何を学ばなければならなかったか?

7章24節-30節をよく見る。

弟子たちが見逃していたイエス様の「食べさせる力」についてスロフェニキヤ人の女性は何を理解していたであろうか?

小文脈 (6章6節-8章21節) の残りの部分をもう一度見る。

弟子たちが見逃したメッセージは何だったか? イエス様が湖の上を歩くのを見た時、弟子たちにそのメッセージはどのように伝わるはずでしたか?

理解できるように引き続き心を開いてくださるようには神様に祈る。

セッション 3: マルコ書に焦点をあてる

全てを総合する

マルコ書6章6-8章21節: パンのメッセージを理解する

マルコの福音書のこのセクションで覚えておきたい考えやメモを記録しておくのにこのページを使ってください。

マルコ書6章6-8章21節の文脈

- I. 宣教活動への序章、宣教活動への備え、初期の対立
- II. イエスのガリラヤでのメッセージとそこでの反応
 - A. よく聞きなさい 3章7節-6章6節
 - B. パンのメッセージを理解する**
6章7節-8章21節
 - ・ 加速するイエスの宣教活動
6章6節-29節
 - ・ 5,000人に食事を施したイエス
6章30節-44節
 - ・ 6章45節-56節: 湖の上を歩くイエス: 彼らの心中の驚きは非常なものであった、というのは、彼らはまだパンのことから悟るところがなく、その心は堅く閉じていたからである。
 - ・ 7章1節-23節: 洗わない手で食べることへの論争: 「みなわたしのことを聞いて、悟るようになりなさい。」
 - ・ 7章24節-30節: スロフェニキア人女性の信仰: 「食卓の下の子犬でも、子どもたちのパンくずをいただきます。」
 - ・ 7章31節-37節: 耳が聞こえず口のきけない人を癒すイエス; 「この方なされたことは、みなすばらしい。耳の聞こえない者を聞こえるようにし、口のきけない者を話せるようにされた。」
 - ・ 8章1節-13節: 4,000人に食事を施したイエス
 - ・ 8章14節-21節: パリサイ人とヘロデのパン種: 「わたしが五千人に五つのパンを裂いて上げたとき、パン切れを取り集めて、幾つのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「十二です。」「四千人に七つのパンを裂いて上げたとき、パン切れを取り集めて幾つのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「七つです。」イエスは言われた。「まだ悟らないのですか。」
 - C. 見えるようになりたいのです
8章22節-10章52節
- III. エルサレム入城

セッション 4: マルコ書に焦点をあてる

マルコ8章22節-10章52節: 見えるようになりたいです!

これから残り時間に見ていく聖句の小文脈を検証していきます。このセッションの直後に、イエス様は「ぶどう園のぶどう」を集めに来た「息子」としてエルサレムに入っていきます。このメッセージを理解するために、すでに実践してきたツールと共にマルコ書で学んだことを踏まえていきます。さらに他の2つのステップもそのプロセスに加わっていきます。

マルコ8章22節-10章52節を読む

何が聞こえましたか？

質問:

- ・ このセッションの最初と最後の物語について考える。その2つは似ているか？どのように違うのか？
- ・ この時点でのイエス様の焦点はどこで見られるか？（リストを作る）
- ・ この時点でのイエス様の懸念は何か？
- ・ ここでの主題は何か？それはなぜか？
- ・ この時点での弟子たちのもっとも関心のあることはどこで見られるか？
- ・ 他の聖句と全く関わりないと思われる聖句は何か？

全てを総合する—マルコ書8章22節-10章52節: 見えるようになりたいです！

マルコの福音書のこのセクションで覚えておきたい考えやメモを記録しておくのにこのページを使ってください。

マルコ書8章22節-10章52節

- I. 宣教活動への序章、宣教活動への備え、初期の対立
- II. イエスのガリラヤでのメッセージとそこでの反応
 - A. よく聞きなさい。3章7節-6章6節
 - B. パンのメッセージを理解する 6章7節-8章21節
 - C. 見えるようになりたいのです。8章22節-10章52節
 - ・ 8章22節-26節: ベッサイダの盲人
 - ・ 8章27節 :ペテロの告白とイエスの教え:
 - ・ 8章31節: 人の子は必ず多くの苦しみを受け... 捨てられ、... 殺され、... 三日の後によみがえられなければ...
 - ・ 8章33節: あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。
 - ・ 8章34節: だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。
 - ・ 9章2節: イエスの変容と神の称賛
 - ・ 9章12節: 人の子について、多くの苦しみを受け、さげすまれる
 - ・ 父親の質問: あなたに私の息子を直すことができますか?
 - ・ 9章31節: [人の子は人々の手に引き渡され、彼らはこれを殺す。しかし、殺されて、三日の後に、人の子はよみがえる。]
 - ・ 弟子たちの論争: だれが一番偉いか?
 - ・ 9章35節: だれでも人の先に立ちたいと思うなら、みなんしのしんがりとなり、みなに仕える者となりなさい。
 - ・ 9章38節: 悪霊を追い出す者—交友による偉大さ?
 - ・ 10章2節: パリサイ人—知識による偉大さ?
 - ・ 10章13節: 小さな子どもたち—重要性による偉大さ?
 - ・ 10章17節: 裕福な若者—富/自己過信による偉大さ?
 - ・ 10章33節: 人の子は... 引き渡されるのです。彼らは、人の子を死刑に定め、そして異邦人に引き渡します。... あざけり、つばきをかけ、むち打ち、ついに殺します。... よみがえります。
 - ・ 10章35節: ヤコブとヨハネ: 地位による偉大さ
 - ・ 10章46節: バルテマイ: 見えるようになりたいのです。

III. エルサレム入城

(ステップ3) 何が書かれているかを検証するに当たっての訓練

盲目のバルテマイに
ズームインする。

課題：ステップ3で与えられたスタディスキルと付随するワークシート1（反対側のページ）を使って、バルテマイという盲人の物語のあなたのフォーカス聖句を分析する。色鉛筆の使用も可。

マルコ書10章46節-52節

46 彼らはエリコに来た。イエスが、弟子たちや多くの群衆といっしょにエリコを出られると、テマイの子のバルテマイという盲人の物ごいが、道ばたにすわっていた。47ところが、ナザレのイエスだと聞くと、「ダビデの子のイエスさま。私をあわれんでください」と叫び始めた。

48そこで、彼を黙らせようと、大ぜいでたしなめたが、彼はますます、「ダビデの子よ。私をあわれんでください」と叫び立てた。

49すると、イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。そこで、彼らはその盲人を呼び、「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたをお呼びになっている」と言った。

50すると、盲人は上着を脱ぎ捨て、すぐ立ち上がって、イエスのところに来た。

51そこでイエスは、さらにこう言われた。「わたしに何をしてほしいのか。」すると、盲人は言った。「先生。目が見えるようになることです。」

52するとイエスは、彼に言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、すぐさま彼は見えるようになり、イエスの行かれる所について行った。

ワークシート 1 (ステップ3参照—何が書かれているかを吟味する)

マルコ10章35節-45節からの例え

繰り返し使われている又は頻りに使われている言葉等に注目する

言葉：例：バプテスマ
マルコ10章38節、39節

同じような語句や考え：例：偉い、最も偉い、支配者、いと高き

動詞/動詞形

例：あなた方は自分が何を求めているのか、わかっているのか、マルコ10章38節

代名詞 (何を指しているのか?)

例：(彼らに) また言われた。
マルコ7章9節 (彼ら=パリサイ人と律法学者たち)

比較/対比

あなたがたも知っているとおりに、異邦人の支配者と認められた者たちは……しかし……仕える者
マルコ10章42節-43節

移行語 (時間? 移動? 結果?)

十人の者がこのことを聞くと、ヤコブとヨハネのことで腹を立てた。マルコ10章41節、人の子が来た のも……マルコ10章45節

キーとなる言葉、場所、語句またはコンセプト。用語索引や他の手段を用いて言葉自体を調べたり、言葉、場所、語句、コンセプトをより徹底的に検証する。

例：ダビデの子。マルコ12章35節。

他出現箇所-新訳マタイ1. 1, 1. 20, 9. 27, 12. 23, 15. 22. 20. 30, 31; 21. 9, 15; 22. 42; ルカ3. 31; 18. 38, 39. 旧約第2サム13. 1; 第1歴29. 22; 第2歴: 1. 1, 11. 18, 13. 6, 30. 26, 35. 3; 箴1. 1; 伝1. 1

問いかけ：暗示的な質問：「先生。私たちの頼み事をかなえていただきたいと思います。」 (かなえてくださいますよね?) マルコ10章35節

答え：(直接応答、物語、聖書参照又は、ほのめかし、比較?) イエス様の最終返答：「それに備えられた人々があるのです。」 マルコ10章40節

書かれていることを吟味する: ワークシート 1 (続き)

この聖句で重要だと思われることは何か? (下の空いている部分に繰り返し使われている言葉、考え、重要だと思えるポイントを書き出す。)

この聖句の構成について気づいたことは何か? (空いている部分にメモを取る。要旨は見つかったか?)

展開されているテーマはあるか?

セッション 5：養成

ステップ4—主たるポイントを探る

A. じっくり考える

1. ステップ1で学んだ背景についてじっくり考える。

留意点：聖句の意味は今日と書かれた時代とで異なる物ではない。

- a. ステップ1で学んだ作者、対象となる読者、両者の関係について考える。
- b. その情報をもとにその聖書のことばを最初に聞いた人々にとって、その言葉はどんな意味を持っていたと思うか？

2. ステップ2で明らかにした文脈についてじっくり考える。

留意点：どのフォーカス聖句も大きな物語の一部である。

- a. この書は何について書かれているのか？
- b. 大文脈（3章7節-10章52節）のメインとなるメッセージは何か？大文脈内のそれぞれのセクション（3章7節-6章6節前半、6章6節後半-8章21節、8章22節-10章52節）の共通点は何か？
- c. 対象聖句箇所の小文脈（8章22節-10章52節）内で起きている事は何か？

3. ステップ3で吟味したフォーカス聖句についてじっくり考える。

- a. この聖句で頻繁に使われている言葉又は、考え方は何か？
- b. 重要な、あるいは意味あるものとして目立つ考え方やポイントは何か？
- c. この聖句で作者が一番言いたい主要点は何か？それを一文で書けるか？

B. 総合する

ここまでこの書の背景、大文脈と小文脈のメッセージ、フォーカス聖句の要点についてじっくり考えてきましたが、ここで一歩さがってそれらすべてがどのように組み合わせられているのか見ていきます。

1. 大文脈又は小文脈のどの考えがフォーカス聖句にも見る事ができるか？
2. 自分が選んだフォーカス聖句が伝えようとしていることは、その物語にさらにどんな意味を付け加えるか？
3. この書を通してこの箇所にあえてこの物語を載せたことで、作者は読者に何を伝えようとしたのか？

C. 検証比較する

この聖句に関して他の人たちと自分が学んだ事を話し合います。ここでは、いつもの顔ぶれの仲間達との話し合いや、聖書評訳書や他の資料の作者との「考え方の交換」が含まれます。

D. 祈って聞く

作者が書を書いた目的がはっきり見えるように、そして学んでいる聖句の要点を見つける事ができるように神様をお願いします。あなたが書いたノートから（1~2日、少なくとも1晩）離れる時間をとります。学んだことがふと心に浮かんだら、神様にその意味を自分の心にはっきり示してくださるよう祈ります。そして夜寝る時に「その日学んだ事で本当に大切な事は何だったのか」自問してください。

E. ポイントを見つける

一つの聖句から全てを知る事はできませんが、「今日学びの後、祈り聞いた結果この聖句が私にとって意味する事は……です。」と言えるところまで到達することはできます。

1. （ノートを見ずに）自分が何を学んだかを自問します。静まって座り、心に浮かぶ事に集中する。
2. ノートを見る。この聖句から主な教えを一つ書き出すとしたらそれは何か？そのポイントを一文にまとめる。（15秒から45秒で説明できるように）

セッション 5: マルコ書に焦点をあてる

自身で聖句を検証する: 小文脈内の盲人バルテマイの箇所 (課題 5)

神様に聞く耳と見る目が与えられるように祈る

もう一度小文脈のマルコ書8章22節-10章52節を（手元にあるマルコ書のコピー）で読む

読みながら裕福な青年の物語、ヤコブとヨハネの願い、盲人バルテマイについて考える。共通点と相違点は何か？

ワークシート2のガイドに従って、マルコ書10章46節-52節からメインポイントだと信じる箇所を見つける。
(盲人バルテマイの物語、自分のフォーカス聖句)

ワークシートの「E」に留意しながらメインポイントを見つけて下さい。「今日の学び、祈り、耳にしたことから、この聖句が自分にとって……ということの意味すると思う。」この聖句の大切な教えを一つ書き出すとしたらそれは何ですか？ポイントを一文（15秒～45秒で説明できる程度）にまとめて下さい。

留意点

教師はただたくさんの情報を集めるだけで、そのポイントがいったい何であるかを明確にせず教えるという大きな落とし穴に落ち入る時がある。ポイントを一つに絞らず、ただその情報だけを伝えようとすれば、それは取り返しのつかない間違いとなり得ると言っても過言ではない。

この学びからあなたに学んで欲しいと神様が望まれている教訓を語ってくださるよう祈ってください。

ワークシート2 (ステップ4 参照—メインポイントを探る)

A. じっくり考える

…… ステップ2で明らかにした文脈についてじっくり考える。(大文脈と小文脈から何を学んだのか?)

…… ステップ3で吟味したフォーカス聖句についてじっくり考える。(著者が伝えたい大切なポイントはいったい何であるか?)

B. 総合する

1. 大文脈又は小文脈のどの考え方がフォーカス聖句にも見る事ができるか?
2. 自分が選んだフォーカス聖句が伝えようとしていることは、その物語にさらにどんな意味を付け加えるか?
3. この書を通してこの箇所にあえてこの物語を載せたことで、作者は読者に何を伝えようとしたのか?

C. 検証比較する (他の人が見つけた事を検証し、自分の考えと比較する。)

D. 祈って聞く (自分のノートから離れて過ごした時に祈りの中で心に浮かんだ事は何か?)

E. 要点は何か?

「今日の学びの後、祈り聞いた結果この聖句が私にとって意味する事は……です。」該当聖句の主な教えをひとつ挙げるとしたら、それは何であるか? 要点を一文にまとめる。(15秒から45秒で説明できるように)

セッション 5: マルコ書に焦点をあてる

全てを総合する

「ダンス」

何を見たか？

何を聞いているのか？

何に捉われているのか？

32ページのワークシート2の「E」を完成する：

「今日の学び、祈り、耳にしたことから、この聖句が自分にとって・・・・・・ということの意味だと思う。」この聖句の大切な教えを一つ書き出すとしたらそれは何ですか？ポイントを一文（15秒～45秒で説明できる程度）にまとめて下さい。

マルコ8章22節-10章52節: 見えるようになりたいです!

マルコの福音書のこのセクションで覚えておきたい考えやメモを記録しておくのにこのページを使ってください。

マルコ書8章22節-10章52節

- I. 宣教活動への序章、宣教活動への備え、初期の対立
- II. イエスのガリラヤでのメッセージとそこでの反応
 - A. よく聞きなさい。3章7節-6章6節
 - B. パンのメッセージを理解する 6章7節-8章21節
 - C. 見えるようになりたいのです。8章22節-10章52節
 - ・ 8章22節-26節: ベッサイダの盲人
 - ・ 8章27節 :ペテロの告白とイエスの教え:
 - ・ 8章31節: 人の子は必ず多くの苦しみを受け... 捨てられ、... 殺され、... 三日の後によみがえられなければ...
 - ・ 8章33節: あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。
 - ・ 8章34節: だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。
 - ・ 9章2節: イエスの変容と神の称賛
 - ・ 9章12節: 人の子について、多くの苦しみを受け、さげすまれる
 - ・ 父親の質問: あなたに私の息子を直すことができますか?
 - ・ 9章31節: [人の子は人々の手に引き渡され、彼らはこれを殺す。しかし、殺されて、三日の後に、人の子はよみがえる。]
 - ・ 弟子たちの論争: だれが一番偉いか?
 - ・ 9章35節: だれでも人の先に立ちたいと思うなら、みなんしのしんがりとなり、みなに仕える者となりなさい。
 - ・ 9章38節: 悪霊を追い出す者—交友による偉大さ?
 - ・ 10章2節: パリサイ人—知識による偉大さ?
 - ・ 10章13節: 小さな子どもたち—重要性による偉大さ?
 - ・ 10章17節: 裕福な若者—富/自己過信による偉大さ?
 - ・ 10章33節: 人の子は... 引き渡されるのです。彼らは、人の子を死刑に定め、そして異邦人に引き渡します。... あざけり、つばきをかけ、むち打ち、ついに殺します。... よみがえります。
 - ・ 10章35節: ヤコブとヨハネ: 地位による偉大さ
 - ・ 10章46節: バルテマイ: 見えるようになりたいのです。

III. エルサレム入城

セッション 5：養成

ステップ5—そのメッセージを自分の人生に当てはめる

この聖句を通して神さまが自分に語りかけていることを見つける。

頭にある知識とイエス様に捧げた心には大きな違いがあり、また、神様についてあれこれ知っている人と神様を真に知っている人との間にも大きな隔りがある。

私たちは自分の人生と切り離して学ぶこともできるし、更に教えることさえできる。しかし、弟子としての信頼性はその人なりに大きく左右される。知っていることはすべて正しいが、その人の人生は空っぽという生き方より、現実につまづきながら、その概念をはっきり目に見えるように生きるほうが望ましいことは言うまでもないであろう。主を知ることによって初めて心を一新できるということを私たちはしっかりと心に留めておきたい。

- A. この聖句で示された（決して変わらない）基本的な人間の資質を確認する。
- B. この聖句箇所に出てくる考え、態度、人間関係について、自分自身、あるいは自分の文化において、その教えに十分に従えていないと思われる最近起こった特別な出来事や状況を一つか二つ挙げる。
 1. まずあなたの人生において
 2. あなたの家族の人生において
 3. あなたの友人たちの人生において
 4. あなたの教会員の人生において
 5. 社会全体において
- C. 今週上に挙げたような状況にぶつかるとしたら、それぞれどんなことが考えられるかをひとつひとつ書き出す。
- D. 上記の状況と照らし合わせて、学んだ聖句の要点に思いをめぐらし、黙想する。この真実がBの箇所で挙げたそれぞれの状況に対して、どのような影響を与えるかを考える。
- E. 自身がこの原則を実現している姿を想像する。この聖句で学んだ原則を自分に当てはめたら、（前述した特別な状況において）来週はどのようになるであろうか？

ワークシート3

(ステップ5参照—そのメッセージを自分の人生に当てはめる)

1. 今週、学びや瞑想、祈りから得られた新たな理解は何か？
2. マルコ10章35節-45節で学んだひとつもっとも大切な原則は何か？
3. 過去の自身の人生の中でこの原則を必要とした時は……

下記について考える。

- ・ そのような状況下で自分は通常どう反応していたのか？
- ・ 自身の通常の反応は自身の葛藤についていったい何を表しているのか？
- ・ そのような葛藤は自身の伝道や住んで奉仕してきた場所にどのように影響したのか？
- ・ そのような状況下でより適切に（神様が望まれるように）対応できるように、自分が選んだフォーカス聖句からさらにどんな原則を学ばなければならないか？
- ・ もしこの原則が自分の行いを変えさせたとしたら、自分の伝道の何が変わるであろうか？また信仰を共にするコミュニティーの兄弟姉妹への影響、あるいは自分が生活し、奉仕している場所にいる人々に対する影響にどんな変化があるであろうか？
- ・

4. これからの一週間、自分のさまざまな責務や仕事を思う時、この学んだ大切なことを自分に当てはめようとしたら、きっと……………時であろう。

5. 今週末神様が自分に語られたことで、普段信仰を分かち合う教会や集いにおいて、また世界のために行う自分の奉仕において 今後何が一番変わっていくだろうか？

具体的に示す！

「もう少し忍耐強くなるつもりです。」とは言わない。

この様に言う：「私の同僚が大勢の前で私に食ってかかってきたら、何も言わずに黙って聞き、必要ならばもう一度自分の言い分を主張します。そうでなければ黙っています。なぜならこのようなチャレンジの根底には必ず不安があることを知っているのです、1日が終わる前に彼/彼女を認めていると示す方法を探します。」

ワークシート 1 (ステップ3参照—何が書かれているかを吟味する)

マルコ10章35節-45節からの例え

繰り返し使われている又は頻繁に使われている言葉等に注目する

言葉：例：バプテスマー
マルコ10章38節、39節

同じような語句や考え：例：偉い、
最も偉い、支配者、いと高き

動詞/動詞形

例：あなた方は自分が何を求めているのか、わかっていないのです。マルコ10章38節

比較/対比

あなたがたも知っているとおりに、異邦人の支配者と認められた者たちは……しかし……仕える者
マルコ10章42節-43節

代名詞 (何を指しているのか?)

例：(彼らに) また言われた。
マルコ7章9節 (彼ら=パリサイ人と律法学者たち)

移行語 (時間? 移動? 結果?)

十人の者がこのことを聞くと、ヤコブとヨハネのことで腹を立てた。マルコ10章41節、人の子が来た のも……マルコ10章45節

キーとなる言葉、場所、語句またはコンセプト。用語索引や他の手段を用いて言葉自体を調べたり、言葉、場所、語句、コンセプトをより徹底的に検証する。

例：ダビデの子。マルコ12章35節。

他出現箇所-新訳マタイ1.1, 1.20, 9.27, 12.23, 15.22, 20.30, 31; 21.9, 15; 22.42; ルカ3.31; 18.38, 39. 旧約第2サム13.1; 第1歴29.22; 第2歴; 1.1, 11.18, 13.6, 30.26, 35.3; 箴1.1; 伝1.1

問いかけ：暗示的な質問：「先生。私たちの頼み事をかなえていただきたいと思います。」(かなえてくださいますよね?) マルコ10章35節

答え：(直接応答、物語、聖書参照又は、ほのめかし、比較?) イエス様の最終返答：「それに備えられた人々があるのです。」マルコ10章40節

ワークシート1は45ページに続く。

書かれていることを吟味する: ワークシート 1 (続き)

この聖句で重要だと思われることは何か? (下の空いている部分に繰り返し使われている言葉、考え、重要だと思えるポイントを書き出す。)

この聖句の構成について気づいたことは何か? (空いている部分にメモを取る。まとめは見つけたか?)

展開されているテーマはあるか?

ワークシート2 (ステップ4 参照—主たるポイントを探る)

A. じっくり考える

…… ステップ2で明らかにした文脈についてじっくり考える。(大文脈と小文脈から何を学んだのか?)

…… ステップ3で吟味したフォーカス聖句についてじっくり考える。(著者が伝えたい大切なポイントはいったい何であるか?)

B. 総合する

1. 大文脈又は小文脈のどの考え方がフォーカス聖句にも見る事ができるか?
2. 自分が選んだフォーカス聖句が伝えようとしていることは、その物語にさらにどんな意味を付け加えるか?
3. この書を通してこの箇所にあえてこの物語を載せたことで、作者は読者に何を伝えようとしたのか?

C. 検証比較する (他の人が見つけた事を検証し、自分の考えと比較する。)

D. 祈って聞く (自分のノートから離れて過ごした時に祈りの中で心に浮かんだ事は何か?)

E. 要点は何か?

「今日の学びの後、祈り聞いた結果この聖句が私にとって意味する事は……です。」該当聖句の主な教えをひとつ挙げるとしたら、それは何であるか? 要点を一文にまとめる。(15秒から45秒で説明できるように)

ワークシート3

(ステップ5参照—そのメッセージを自分の人生に当てはめる)

1. 今週、学びや瞑想、祈りから得られた新たな理解は何か？
2. マルコ10章35節-45節で学んだひとつもっとも大切な原則は何か？
3. 過去の自身の人生の中でこの原則を必要とした時は……

下記について考える。

- ・ そのような状況下で自分は通常どう反応していたのか？
- ・ 自身の通常の反応は自身の葛藤についていったい何を表しているのか？
- ・ そのような葛藤は自身の伝道や住んで奉仕してきた場所にどのように影響したのか？
- ・ そのような状況下でより適切に（神様が望まれるように）対応できるように、自分が選んだフォーカス聖句からさらにどんな原則を学ばなければならないか？
- ・ もしこの原則が自分の行いを変えさせたとしたら、自分の伝道の何が変わるであろうか？また信仰を共にするコミュニティーの兄弟姉妹への影響、あるいは自分が生活し、奉仕している場所にいる人々に対する影響にどんな変化があるであろうか？

4. これからの一週間、自分のさまざまな責務や仕事を思う時、この学んだ大切なことを自分に当てはめようとしたら、きっと……………時であろう。

5. 今週末神様が自分に語られたことで、普段信仰を分かち合う教会や集いにおいて、また世界のために行う自分の奉仕において 今後何が一番変わっていくだろうか？

具体的に示す！

「もう少し忍耐強くなるつもりです。」とは言わない。

この様に言う：「私の同僚が大勢の前で私に食ってかかってきたら、何も言わずに黙って聞き、必要ならばもう一度自分の言い分を主張します。そうでなければ黙っています。なぜならこのようなチャレンジの根底には必ず不安があることを知っているのです、1日が終わる前に彼/彼女を認めていると示す方法を探します。」

カムビフォーウィンター

ミニストリーにある女性たちのためのリニューアル

PO Box 203381, Austin, TX 78720

512.216.2060

www.comebeforewinter.org

karencbw@gmail.com